

平成二十六年十月投句

【飯盛神社

(流鏝馬神事)】

川曲る葦火も曲るあかね雲

谷に向く神馬の柵や秋祭

流鏝馬のいよよに鴟の高音かな

勝利

流鏝馬を駆け終えし馬汗光り

真理子

流鏝馬の的秋天へ弾け散り

寄進筵十枚とあり秋祭

三頭の試走始まり秋まつり

流鏝馬を待つ人垣や秋日濃し

コスモスの畑流鏝馬走り過ぐ

節子

流鏝馬の的射し音や宮の秋

由紀子

鉦叩右に聞えて左にも

流鏝馬の射手の横顔秋の日に

流鏝馬の射手七人や秋祭

流鏝馬の陰陽の声秋天へ

光子

【お休み】

佳与子

蹄音駆け上り来る秋祭